

デジタル田園都市国家構想総合戦略を踏まえた
本別町デジタル田園都市構想「総合戦略」の改訂について



デジタル田園都市国家構想

DIGIDEN

本別町企画財政課 作成

1. これまでの経過

年度	国の動き	本別町の動き
H26	まち・ひと・しごと創生法公布・施行	
	「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」閣議決定(計画期間:H27年度～R元年度)	
H27	「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」閣議決定 「まち・ひと・しごと創生総合戦略(2015改訂版)」閣議決定	「本別町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」策定(計画期間:H27年度～R1年度)
H28	「まち・ひと・しごと創生基本方針」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略(改訂版)」の年度改訂を閣議決	
R元	「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」閣議決定 第2期「長期ビジョン」・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定(計画期間:R3～R6年度)	「本別町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」(R2.3一部改訂) ※総合戦略の期間延長を1年延長し、R2年度までとする ※数値目標・KPIを見直し
R2	「まち・ひと・しごと創生基本方針」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略(改訂版)」の年度改訂を閣議決定	「本別町人口ビジョン」(R3.3一部改訂) ※国調数値等を勘案し、総人口の目標を改訂
R3	「まち・ひと・しごと創生基本方針2021」閣議決定	「第2期本別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定(計画期間:R3年度～R7年度)
R4	「デジタル田園都市国家構想基本方針」閣議決定(R4.6.7) 「デジタル田園都市国家構想総合戦略」閣議決定(R4.12.23) (計画期間:R5年度～R9年度)	
R5	「デジタル田園都市国家構想総合戦略」2023改訂(R5.12.26)	本別町デジタル田園都市構想総合戦略推進本部会議開催 本別町デジタル田園都市構想総合戦略推進委員会会議開催 本別町デジタルトランスフォーメーション(DX)基本方針 本別町デジタル田園都市構想総合戦略 改訂着手 デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ1)申請
R6		「本別町デジタル田園都市構想総合戦略」スタート (計画期間:R6年度～R7年度) ※第7次本別町総合計画後期計画策定と次期総合戦略策定を一体的に策定する(計画期間:R8年度～R12年度)

2. 地方版総合戦略策定の趣旨

総合戦略の基本的考え方

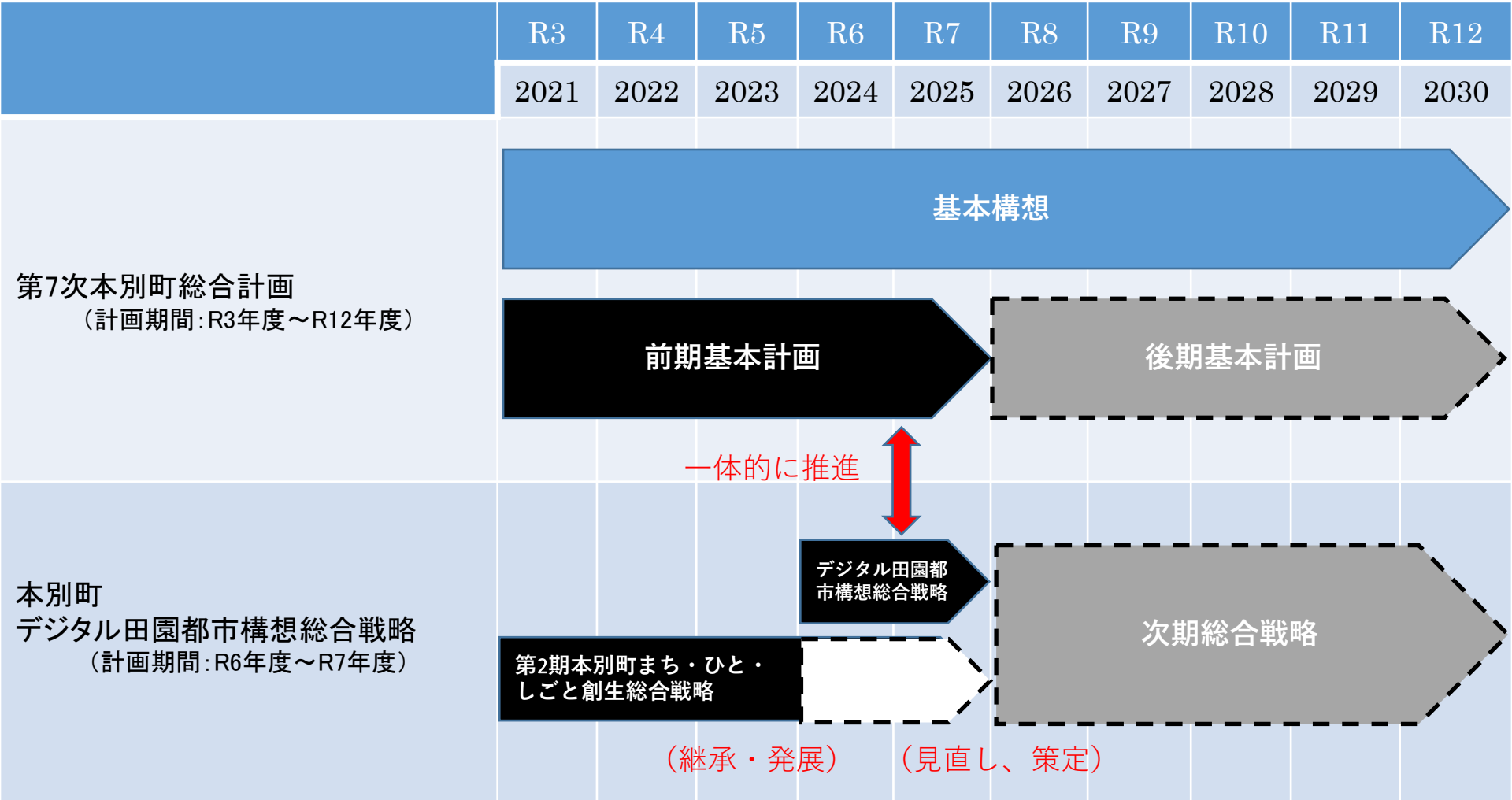
- テレワークの普及や地方移住への関心の高まりなど、社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。
- 東京圏への過度な一極集中の是正や多極化を図り、地方に住み働きながら、都会に匹敵する情報やサービスを利用できるようにすることで、地方の社会課題を成長の原動力とし、地方から全国へとボトムアップの成長につなげていく。
- デジタル技術の活用は、その実証の段階から実装の段階に着実に移行しつつあり、デジタル実装に向けた各府省庁の施策の推進に加え、デジタル田園都市国家構想交付金の活用等により、各地域の優良事例の横展開を加速化。
- これまでの地方創生の取組も、全国で取り組まれてきた中で蓄積された成果や知見に基づき、改善を加えながら推進していくことが重要。

総合戦略のポイント

- まち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改訂し、2023年度から2027年度までの5か年の新たな総合戦略を策定。デジタル田園都市国家構想基本方針で定めた取組の方向性に沿って、各府省庁の施策の充実・具体化を図るとともに、KPIとロードマップ(工程表)を位置付け。
- 地方は、地域それぞれが抱える社会課題等を踏まえ、地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築し、地方版総合戦略を改訂。地域ビジョン実現に向け、国は政府一丸となって総合的・効果的に支援する観点から、必要な施策間の連携をこれまで以上に強化するとともに、同様の社会課題を抱える複数の地方公共団体が連携して、効果的かつ効率的に課題解決に取り組むことができるよう、デジタルの力も活用した地域間連携の在り方や推進策を提示

本町においても、これまでの地方創生に向けた取組みの成果や課題を踏まえた上で、本別町の地方創生の充実と強化に向け、切れ目ない取組みを進めるため、「本別町デジタル田園都市構想 総合戦略」を策定するものとします。

3. 計画期間



- ※計画期間を現行のまち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間までとします。
- ※令和6年度~令和7年度については、現行のまち・ひと・しごと創生総合戦略を継承、発展(事業を追加)
- ※令和8年度からスタートする、総計後期計画と次期総合戦略を連動させ策定します。
- ※人口ビジョン、KPI等の見直しは、次期総合戦略の策定に合わせ行います。

4. まち・ひと・しごと創生総合戦略からデジタル田園都市国家構想総合戦略へ

まち・ひと・しごと総合戦略

人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することを目指します。

基本目標

1. 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
2. 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

横断的な目標

1. 多様な人材の活躍を推進する
2. 新しい時代の流れを力にする

デジタル田園都市国家構想総合戦略

デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。

施策の方向性

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

1. 地方に仕事をつくる
2. 人の流れをつくる
3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. 魅力的な地域をつくる

デジタル実装の基礎条件整備

1. デジタル基盤の整備
2. デジタル人材の育成・確保
3. 誰ひと一人取り残されないための取組

5. 策定の基本的な考え方

総合戦略の位置付け

本別町では、「第7次本別町総合計画」を最上位に位置づけ、総合的・計画的なまちづくりを進めており、本別町デジタル田園都市構想総合戦略は、「総合計画」の下位計画と位置づけます。デジタルの力を活用しつつ、地域の個性を活かしながら地方の社会課題解決や魅力向上の取組みを加速化・深化させるための計画とします。

基本目標 ※「第2期本別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」と同様

- 基本目標1 元気な産業をつくり安心して働けるようにする
- 基本目標2 本別への新しい人の流れをつくる
- 基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 基本目標4 安心して暮らせる地域をつくる

デジタル田園都市国家構想総合戦略における施策の方向

デジタルの力を活用して地方の社会課題解決に向けた取組を加速化・深化

- ① 地方に仕事をつくる
- ② 人の流れをつくる
- ③ 結婚・出産・子育ての希望を
- ④ 魅力的な地域をつくる基盤整備

地方のデジタル実装を下支え

デジタル実装の基礎条件整備

- ① デジタル基盤整備
- ② デジタル人材の育成・確保
- ③ 誰一人取り残されないための取組

6. 本別町デジタルトランスフォーメーション(DX)基本方針

策定の目的

コロナ禍におけるリモートワークや生成AIの急速な進化等デジタル技術は日進月歩で発展している。こうした技術を活用して地方創生の取り組みを深化させていくことを目指したデジタル田園都市国家構想総合戦略を進めていくには、デジタル技術活用に関して基本的な方針を町民、行政職員で共通認識としておく必要であることから定めるものである。

なお、デジタル技術については日々進化していくものであることから、必要に応じて方針についても随時見直しを行う。

基本方針

I 町民主体の視点

- ① 町民生活の利便性が向上すること
町民が便利になったと感じられる社会になる
- ② 誰でもわかりやすく、利用しやすいこと
町民のどんな世代の方々でもわかりやすく利用しやすいシステムであること
- ③ デジタルデバイド(情報格差)の解消に向けた環境整備
高齢者の利用に配慮すること
デジタルが苦手な人への行政サービスが低下しないこと

行政主体の視点

- ① 行政事務の効率化が図られること
職員の手間が過大にならないこと
- ② システム導入前に職員が取り組みやすい環境を整備すること

財政面での視点

- ① 将来の財政負担が過大とならないこと
中長期的な視点で過度な公費負担が生じない、自走できる仕組みであること
- ② 町民の経済事情により、行政サービスに格差が生じないこと

民間との協働

- ① あらゆる利害関係者と協議しながら、デジタル活用を含めた新しい価値の創造や課題解決を進めていく
- ② 地域産業の活性化を推進しながら、地場産品の付加価値向上を図る